

椎の苗木通信



夢・力・花いっぱい

木城町立木城中学校

Tel 0983-32-2028

Fax 0983-32-4191

木城の明日を担う心豊かでたくましい人づくり

(木城町教育大綱の基本理念)

第84回NHK全国学校音楽コンクール

8月3日(木)に、宮崎市で行われたNHK全国学校音楽コンクール宮崎県コンクールの中学校の部には、19校が参加しました。木城中学校は、10位でした。5名の審査員による講評を紹介したいと思います。

➤ 佐久間 伸一さん(熊本シティ・オペラ協会代表) 課題曲：発声にくせがなく、心地良い演奏です。体整にぶれがなく、音程に不安定さを感じられないりっぱな演奏でした。自由曲：カンタービレの部分は、横の流れを注意してみてください。丁寧な、よく練習の行き届いた演奏でした。

➤ 神宮 章さん(東京アンサンブル J 合唱団指揮者) 課題曲：ユニゾンがきれいでした。後半への盛り上がりも、うまくいっていました。長い音の歌い方に気を付けましょう。自由曲：ダイナミックスの変化に気を付けましょう。皆さんの想いが伝わる演奏でした。

➤ 瀬戸口 浩さん(声楽家)

課題曲：心のこもった演奏で、言葉を大切にしていることが良く分かります。あと少し深い声があれば良いと思います。フレーズももっと大きい方が・・・。Tempo? 自由曲：良く歌えていると思います。レガート不足。発音はもっと固めの方が良いと思う。少し甘い!

➤ 南 迪子さん(合唱指揮者・声楽家)

課題曲：男子の声がいいですね。人数も多くてうらやましいです。3拍子で、4分音符が多い曲ですが、その4分音符がどれも同じ比重で歌われているので、少し表現が堅い気がします。

自由曲：出だしの ff(フォルティッシモ)が迫力のあるハーモニーで引き付けられました。P8「葉脈の走らせ方を刻みの入れ方を」のソプラノの音に当てるのが難しいですが、息の流れでもっていただけたいですね。

➤ 村上 敏明さん(声楽家・藤原歌劇団正団員)

課題曲：透き通るような女声の歌声が素晴らしい!! 男声の深い音色も魅力的です!! もう少しだけ前向きのテンポ作りでもいいかもしれません。自由曲：ハーモニーの作り方が絶妙で素晴らしい!! 「ひとつひとつ」等、大事な言葉の「子音」をもっと立ててみましょう。「U(う)」の母音をもっと深く取ってみてください。」歌・詞へ、感動を持って取り組んでいるようすが素晴らしい!!

木城小中学校連携教育

7月に学校経営等について保護者向けのアンケートを集計したところ、小中連携についての質問がありましたので、本年度取り組んでいる、小中連携教育について紹介します。

➤ 小中連携教育の目的

「木城の明日を担う心豊かでたくましい人づくり」を目標にし、ふるさと木城の良さを知り、地域の絆を大切にしながら、人としての生き方・在り方の基となる豊かな心や自ら進むべき道を切り開いていくたくましい精神を育てていくことを目指します。

義務教育9年間においては、郷土愛を育み、学ぶ喜びや人を思いやるやさしさを育て、健康で心豊かな児童・生徒の育成を目指します。また、小中連携教育を中心に、児童・生徒自身が自分の将来像を描けるキャリア教育の推進に努めます。

➤ 研究組織

木城町の小中連携教育は、学力向上研究班とキャリア教育研究班からなる研究部と、生徒指導部会と保健体育部会からなる実践部によって構成されています。そして、これらが、計画的に、円滑に研究や事業を進められるように、小中連携推進委員会があります。

➤ 各部の活動内容

(1) 研究部

① 学力向上研究班

学力向上研究班では、授業改善、学力向上対策、家庭学習習慣形成について取り組んでいます。具体的な取組として、木城小・中学校の家庭学習の手引きを見直しています。学年や発達段階に応じた手引きを作成することで、児童・生徒が家庭で自主的に学習に取り組めることがねらいです。

② キャリア教育研究班

キャリア教育研究班では、全体計画の具体化、キャリア教育の視点を踏まえた教育活動、社会

福祉体験活動について取り組んでいます。

11月には、小学校の高学年児童と中学生がチームを編制し、町内の福祉施設や河川敷等へ出向いて、除草やゴミ拾いを行います。

(2) 実践部

① 生徒指導部会

生徒指導部会では、あいさつ運動、基本的な生活習慣の育成について取り組んでいます。具体的な取組としては、毎月の小中学生合同のあいさつ運動があります。代表の児童・生徒が朝正門に立ち、登校してくる児童・生徒に大きな声で挨拶をしています。

② 保健体育部会

保健体育部会では、体力の維持向上、食育の推進、健康生活習慣形成について取り組んでいます。具体的な取組としては、中学校の保健体育担当の先生が主に高学年を対象に、体育の授業時に水泳指導を行います。これによって、小学生の時点から専門の先生の指導を受けることができます。また、保体・給食委員会の中学生が保健室の先生と一緒に、小学校に出向いて、熱中症対策や食育などについて小学生への指導を行っています。保健だよりも小中で連携を図りながら内容を検討しています。

(3) 小中合同授業研究会

本年度は、9月27日に中学校の佐藤先生が英語の授業を公開し、小学校の先生と一緒に授業の進め方などについて話し合い、研究を深める予定です。また、10月には小学校の先生が授業を公開し、中学校の先生と一緒に同様な取組を進めていく予定です。